

みずほCustomer Desk Report 2016/11/10号(As of 2016/11/09)

【昨日の市況概要】

	第一公示	105.11	第二公示	103.11
	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.00	1.1019	115.70	0.9792
SYD-NY High	105.89	1.1300	116.01	0.9848
SYD-NY Low	101.19	1.0906	113.78	0.9550
NY 5:00 PM	105.66	1.0907	115.40	0.9846
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.655/11.455	△25RR	1.515	Yen Call Over
NY DOW	18,589.69	256.95	債券市場	日本2年債
NASDAQ	5,251.07	57.58		日本10年債
S&P	2,163.26	23.70		米国2年債
日経平均	16,251.54	▲919.84		米国5年債
TOPIX	1,301.16	▲62.33		米国10年債
シカゴ日経先物	17,240	▲100.00		独10年債
ロンドンFT	6,911.84	68.71		英10年債
DAX	10,646.01	163.69		豪10年債
ハンセン指数	22,415.19	▲494.28	為替市況	USD/CNH
上海総合	3,128.37	▲19.52		ドルインデックス
USDJPY 3M Vol	11.21	0.45%	商品市況	CRB指数
USDJPY 6M Vol	10.94	0.30%		NY金
EURJPY 3M Vol	10.58	0.18%		WTI
EURJPY 6M Vol	10.92	0.13%		Dubai Spot

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月9日	8:50	日 経常収支/貿易収支	9月 ¥1,821.0B/¥642.4B	¥2,020.0B/¥668.8B
	10:30	中 CPI/PP(前年比)	10月 2.1%/1.2%	2.1%/0.9%
	18:30	英 貿易収支	9月 -€5.221M	-€3.950M
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-1.2%
11月10日	3:30	米 カンシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-

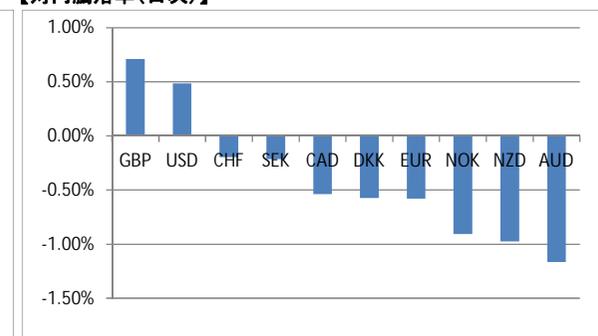
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月10日	8:50	日 金融政策決定会合における「主な意見」公表	-	-
	8:50	日 機械受注(前月比/前年比)	9月 -1.5%/4.1%	-2.2%/11.6%
	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	11:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	260K	265K
	23:15	米 ブラード・セントルイス連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	前日海外時間の流れを引き継ぎ朝方のドル円は一時105.25まで上昇した後、105.00レベルでオープン。米大統領選挙の開票が始まるとドル円は神経質な値動きとなり104円台後半まで下落した後、すぐに反発に転じ一時105.48まで上昇。序盤の開票結果は概ね事前に予想された通りの展開となり104円台後半から105円台前半を中心とした方向感に欠ける推移となった。しかし、開票が進むにつれ、予想されていたよりも接戦となっていることが判明するとトランプリスクが意識されドル売りが強まり、ドル円はストップを巻き込んで103円台前半まで急落。重要州とされていいたミシガン州、ノースカロライナ州等がトランプ候補が優勢と伝わると102.04まで下落。さらに、接戦州の中でも最も重要な州の一つと見られていたフロリダ州においてもトランプ候補が優勢となっていることが伝わると一段と下落に拍車がかかり最終的には101.19まで下落する展開となった。その後、金融庁・財務省・日銀が15時から国際金融市場にかかる情報交換会を実施すると伝えられたことも材料視されてドル円の下げは一服。102.82まで上昇した後、102.25レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、102.25レベルでオープン。アジア時間は、S&P500種株価指数先物が5%安となり取引制限が発動される等、トランプ氏の保護主義的政策への懸念からリスク回避姿勢が強まったが、ロンドン時間は打って変わり、債券売り、株買いと典型的なリスクオンモードに転じた。為替市場でもドル買戻し優勢となり、ドル円も、103.83円まで急伸し、ほぼ、そのままの水準でNYに渡った。ロンドンドルは、1.2490レベルでオープン。大統領選挙が終わったことで、BREXIT相場に回帰したとの見方や、欧州系中銀のドル買い観測等を背景に、1.2358まで下落し、1.2400レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1258レベルでオープン。米10年債利回りが、4月下旬以来の高水準に上昇する中、米独金利スプレッドが拡大し、ユーロドルは1.1022まで下落し、1.1027レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	トランプ候補勝利の可能性が高まるにつれ安値101.19まで下落したドル円は、下院に続き上院も共和党が過半数を獲得との報道等もあり流れが一転。米長期金利上昇を背景にドル買いが強まり、ドル円は103.80レベルでNYオープン。財政出動や大型減税による米景気押し上げ期待の高まりを背景に米長期金利が今年1月以来となる2.08%まで上昇しリスクオンモードが強まる中、一時マイナ900ポイント近くまで下げていたダウ先物も急速に下げ幅を縮小しプラスに転じると、ドル円はストップロスオーダーを巻き込みながら高値105.89まで上昇。政権人事などにおいて不透明感もくすぶっていることから上げは一服したものの、105円台後半での底堅い推移が継続し105.66レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは一時1.1300まで上昇するが、リスク回避の後退を受けて、ドル買戻しとなり1.1027レベルでNYオープン。引き続きドル買い地合いとなり軟調な値動きになるが、1.09近辺では下げ渋り、1.0907レベルで海外市場に渡った。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.50-106.00	1.0850-1.1000	114.30-116.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は大幅上昇した。注目の米大統領選挙ではトランプ共和党候補が勝利し、同氏の保護主義的政策が中期的にはドルの支援材料になるとの見方が一部で広がる中、堅調な米株式市場や米長期債利回りの2%を超える大幅上昇などを背景に、一時101円台まで値を落としたドル/円も105円台後半まで急反発する格好となった。本日のドル/円は揉み合う展開を予想する。予想外の結果に終わったイベントに対する反応も一巡し、新政権に対する期待感と先行きに対する不安感が交錯する展開となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・森谷